

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成28年度第5回 (H28.6.7～H30.6.6)
開催日時	平成28年10月21日(金曜日) 午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、中村委員、田村委員、伊東委員、本橋委員、松尾委員 欠席：田崎委員 事務局：渡邊係長、杉山主査、編集委託(富山)
議題	1 第4回会議録の承認 2 情報誌パリティ18号について 3 男女平等推進センター企画運営事業について 4 その他(次回開催日程等)
会議資料の名称	資料 ・第4回会議録(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》</p> <p>1 第4回会議録の承認</p> <p>委員長</p> <p>第4回会議録の承認について何かあるか。</p> <p>・異議なし</p> <p>委員長</p> <p>○では第4回会議録を承認する。</p> <p>2 情報誌パリティ18号について</p> <p>事務局</p> <p>前回で女性の活躍に焦点を当てた人選をすることとした中で、今回特集記事の取材対象として3人の方を用意している。</p> <p>第一番目がモーハウス代表の光畑由佳さんですが、「いいお産の日」(茨城、青山)の開催や自宅サロン等も通じて、お産・おっぱいをサポートする「モーハウス」の活動を始めた。ここで始めた「子連れ出勤」を、古くて新しいワークスタイルとして、青山ショップや百貨店でも実践中。女性、企業、学生に向けての講演も多い。</p> <p>二番目は石坂ファームハウスの石坂昌子さん。昌子さんは「東京都女性活躍推進</p>	

大賞」受賞者。女性農業者として、女性の視点を生かした農業経営を実現するとともに都内の女性農業者が活躍するための先駆者として大きな影響を持つ。都市農業でありながら、里山を持ち循環型農業を実施している。

三番目は、HerbNetの浅川絢子さん。「私らしく働く・生活する」をコンセプトにワークライフバランスセミナー開催、創業支援活動・親子コンサート・教室運営を行っている。何でも相談しやすい人柄と、数値解析を利用した論理的説明で、「難しそうなことも、すぐに使える形で説明してもらえるので、分かりやすい」「親身に向き合って、一緒に前に進んでくれる」と評価されている。

- ・光畑さんは取材することが容易である。
- ・石坂さんは、日野市で身近な感じ。男女共同参画においては、農業という古くて新しいジャンルと思う。
- ・浅川さんは、西東京市で産業振興課の事業を受託している。

委員長

特集記事として選定するとなると消去法で考えてみて、どんな感じになるか。

- ・浅川さんは、西東京市でよく知られているので、イメージで新鮮さが弱い。
- ・光畑さんは、それこそ全国区でメジャーな存在で、今までもその道の権威というメジャーな雰囲気惹かれるものはある。

事務局

石坂さんは、農業というジャンルで西東京市にまだ多く残っている産業ではあるので、読者層を開拓する意味がある。

委員長

決め方はどうするかですが。浅川さんを除く光畑さん、石坂さんのお二方の内どちらかと思うが。

- ・多数決で良いのではないか。

事務局

決定したとしても、確実にアポが取れるということではないので優勢順位と考えたい。

委員長

では、提案もあることなので、多数決を採る。光畑さんが良いと思う方。

- ・挙手多数

委員長

光畑さんでよろしいか

○異議なし

事務局

情報誌の作成の工程表にある通り、それぞれの担当の方は、原稿を送ってください。

委員長

再確認するが、事務局から担当を確認してほしい。

事務局

編集後記は松尾・吉田・伊東・田崎。ライブラリーは、松尾・本橋・白井である。あとステキに男女平等参画のコーナーのコーナーの人数が未だであるので決めていただければ。

- ・前は男性であったので今回は女性がよいのでは。

事務局

イメージ的には、理系女子を取り扱えるとよいが。

- ・ 建築関係の様な現場で活躍しているような方はいないか。
- ・ I T企業に勤めて、育休を会社で初めてとった人は。具体的には、Sさん
- ・ 市の事業でハンサムママに参加している人は。Iさん
- ・ Sさん、Iさんのどちらかで良いのではないか。

委員長

お二方の内、取材可能となった方という事でよろしいか。

○異議なし

3 男女平等推進センター企画運営事業について

委員長

男女平等推進センター事業について、前回の会議では、もう一度この回の会議で企画案を検討することになっていたの、それぞれ説明をしてもらいたい。

提案者A

タイトルは「今、必要なしなやかに生きる力 患者自身が持つ力」突然の病に家族が見まわれた時、前向きに生きていくための考え方を学び、そして地域社会として受け入れていくことを考えるきっかけにしていく。

提案者B

「今日からできるストレスマネジメント入門」ストレスマネジメントは男女を問わず、不確実性の時代を健康で生きぬくために必要なことと考える。少子高齢化、人口減少社会の中で、貴重な労働力である成人男女がストレスで病気になったり、QOLの質が下がったりすることを少しでも緩和するために、本セミナーを開催したいと思う。

提案者C

前々回「ペアトレーニング」を提案したが、都合により「BPプログラム＝ベビープログラム」の連続4回講座を実施したい。初めてのお子さん（2～5ヶ月）を持つ母親対象のプログラムで、赤ちゃんへの接し方や赤ちゃんとの生活を学ぶことで、おだやかな気持ちで親子が向き合うことを目指す。接し方が上手くない、型通りで安直に過ぎる育児方法に警鐘を鳴らしプログラムが意図する接し方の基本を理解していく。

なお、水無田气流氏については、今回取下げをしたいと考える。次年度以降で開催する機会を探すこととしたい。

提案者D

「家庭・学校・地域で考えたい『子どもがLGBTだったら？』」もし子ども（自分の）がLGBTだったら？受け入れられるか、どのようにふるまうべきか、家庭・学校・地域の連携はどのようにすればよいかなど、疑問や課題について話し合い解決策を見つけるワークショップとしたい。

- ・ いずれの講座も賛成であるが、すべて実施できるのか。予算面での折り合いがあると思うが、予算の範囲を具体的に示してもらえないか、講師との交渉に関わる。

事務局

現在、講師謝金の使用できる範囲は9万円で、もし謝金がひとり3万円となると3講座分しかないという事である。それぞれの謝金単価を下げてもらえるのであれば、4講座を実施することも可能といえる。

- ・ 4講座の実施について、1～3月までにしなければならないか。

事務局

平成28年度の予算で実施するという事であれば、当然3月までに実施することに

なる。今回、提案のあった企画については、次年度へ引続き提案することはできない。

- ・ 4 講座内 4 回連続のこの日程は、今年度実施可能か。

事務局

少しスケジュール的には厳しいものとする。ただ、調整が上手く出来れば可能といえなくない。

委員長

4 講座を実施するという事で、事務局に配分調整を進めてもらうという事で良いか

○異議なし

- ・ 実施するに当たり提案者として、講座開催までになにをしなければならぬのか。講座実施までの段取りを具体的に教えてほしい。

事務局

端的に言えば講演者と、連絡がつけられる状態まで持ってきていただければ、事務局では講師と交渉をする。

- ・ 講師と連絡をつけられるようにすれば、企画運営委員として、講座の運営に関わる部分では、日程調整や講座内容の詳細な打合せ、当日準備などは不要という事と理解して良いか。

事務局

そのとおり、ただ提案者ご自身が、講座を聞きたいとか何らかの当日のお手伝いをしていただければ、講座運営補助として協力をいただくことは可能で、些少ではあるが謝金の用意もある。

- ・ 概ねの実施時期とそこまでのタイムスケジュールを教えてください。

事務局

スケジュールとして、市報掲載は講座開催の 1 ヶ月ぐらい前の発行月日号を原則としている。また、それから逆算すると 2 ヶ月前に講師交渉が終了していること、講演会の詳細が固まっていることがあげられる。

委員長

企画提案の講座を実施することでよろしいか。

○異議なし

委員長

他に事務局から何かあるか。

事務局

次回の日程については、前回で確認したように 12 月 9 日（金）でよろしいか。

委員長

皆さんいかがか。

○異議なし

- 次回の開催を 12 月 9 日（金）午後 6 時 30 分とする。

委員長

では、本日は散会とする。

- ありがとうございます。

《閉会》

